

食品流通事業 事業戦略

2014年5月26日
富士電機株式会社
食品流通事業本部

■事業概要

■市場動向

■事業計画

■重点施策

事業概要

自販機

【自販機】



- 缶・ペット自販機
- カップ自販機
- 食品・物品自販機
- 海外市場向け自販機

【フードサービス機器】



- 自動給茶機
- 清涼ディスペンサー
- コーヒーマシン

店舗流通

【店舗システム】



- 冷凍・冷蔵ショーケース
- 店舗省エネシステム
- 店舗エネルギー管理システム
- 自動釣銭機

【流通システム】

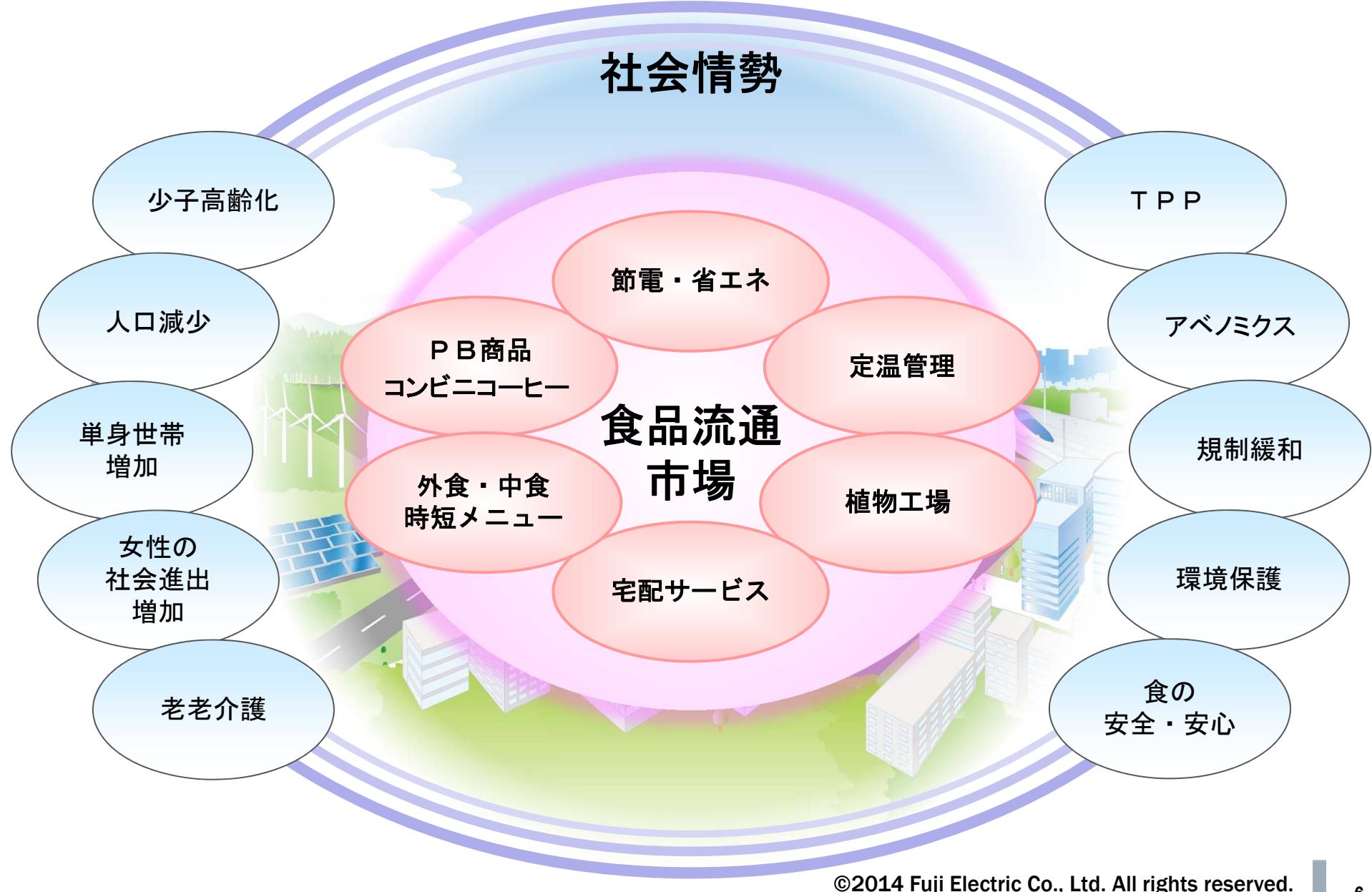


- 要冷・冷蔵設備
- 次世代保冷コンテナ (D-BOX)
- 輸配送システム
- 物流センターシステム
- 植物工場プラント

- ・ 自販機国内トップシェア
- ・ 省エネ技術を核とした環境対応

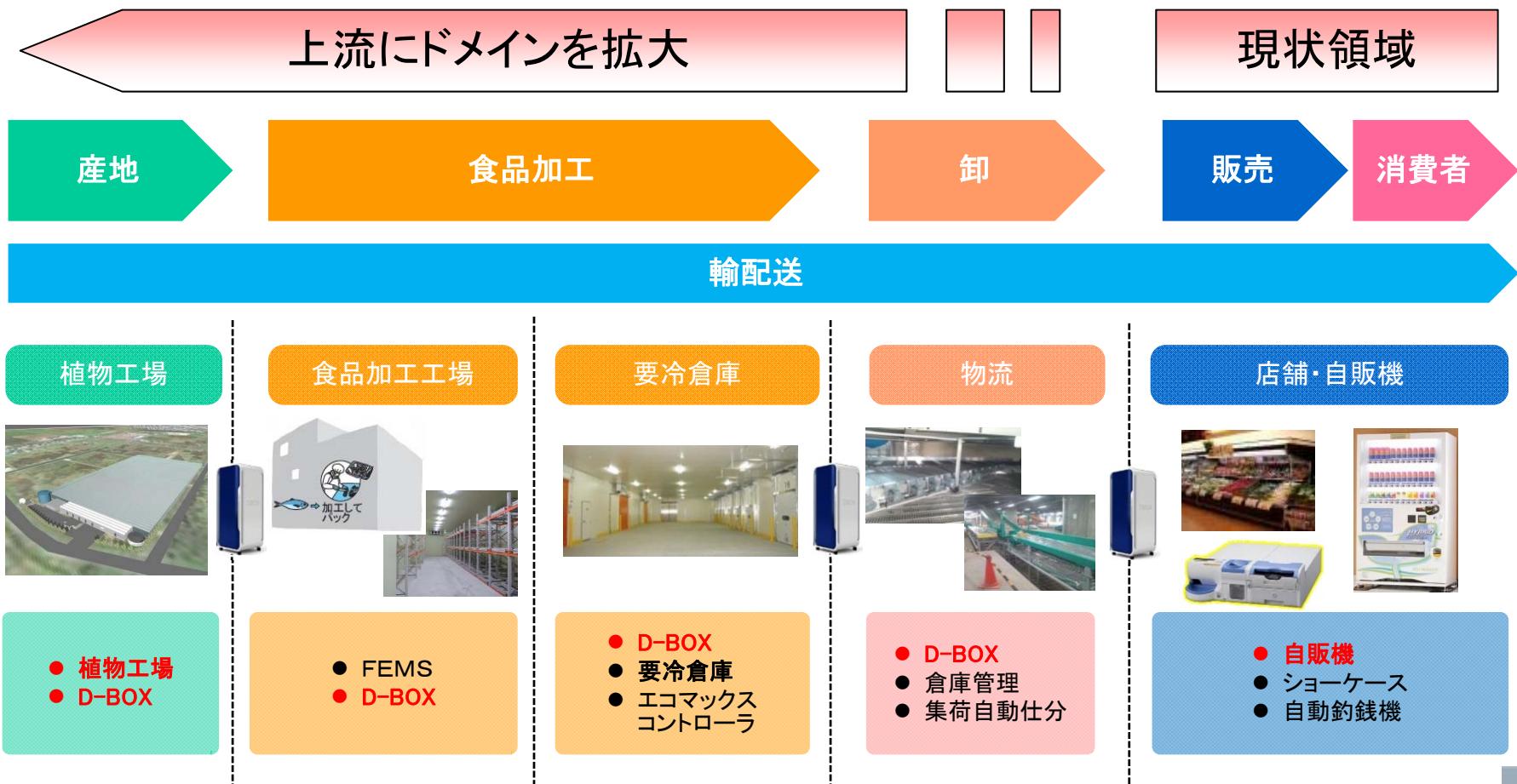
- ・ 店舗内環境の最適化（システム制御）
- ・ I T を融合したシステム制御

市場動向

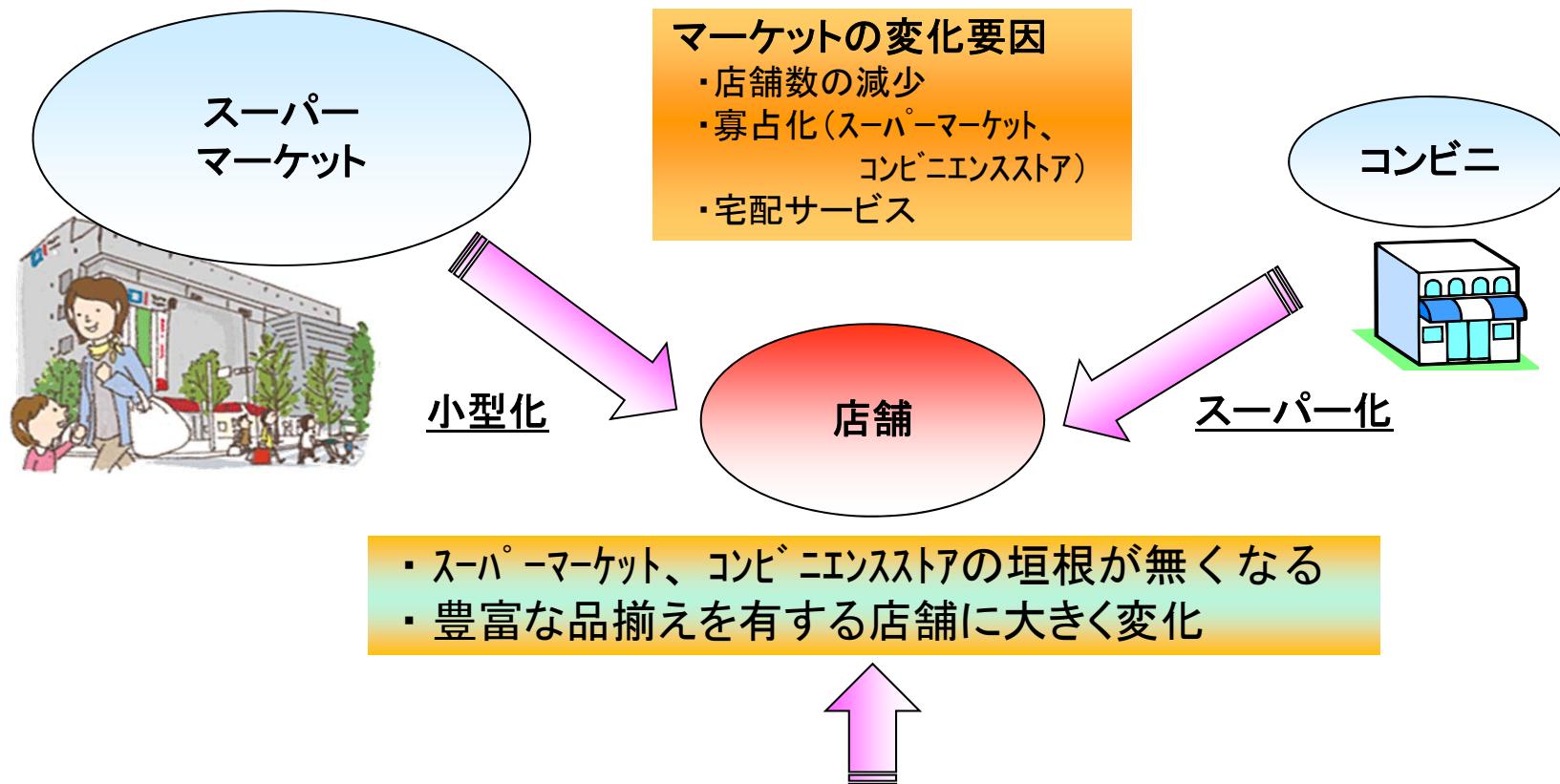


顧客業態変化を好機に冷熱(要冷)とIT制御(物流)を中心として周辺需要を取り込み拡大

◆変革のキーポイント…ドメインの拡大(チェーンの上流へ事業拡大)



小売業界の変化と提供商材



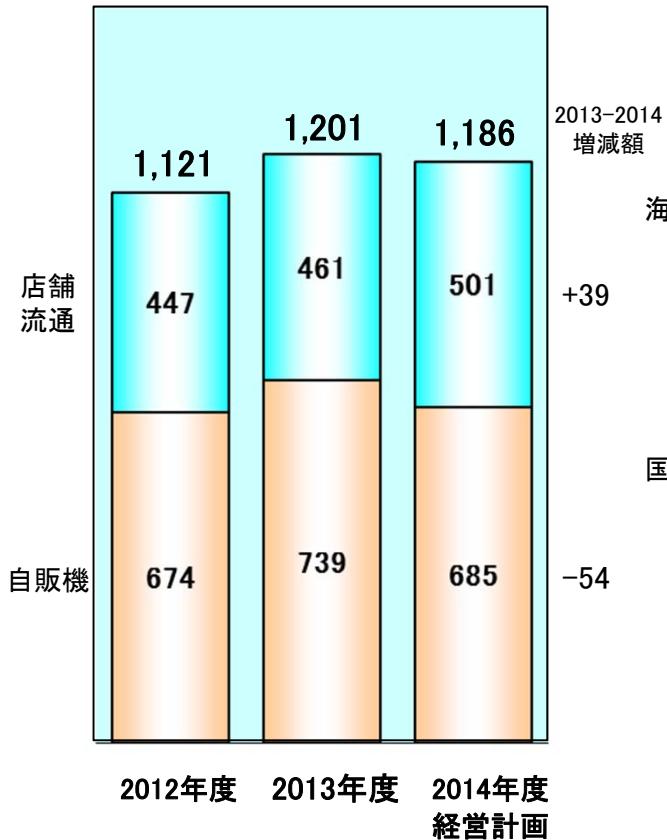
富士電機が取り組む商材

- ・無人化店舗
- ・カウンター商材(コーヒーマシンなど)

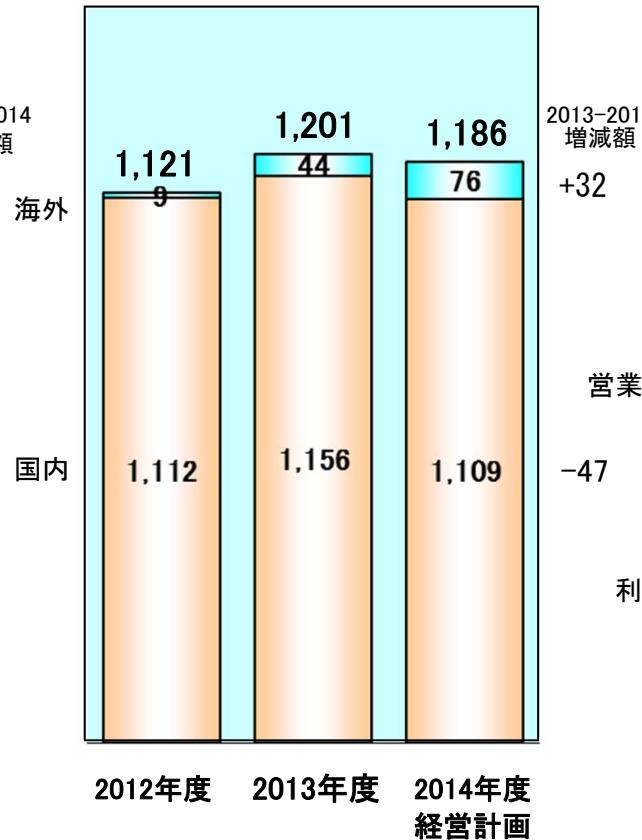


事業計画

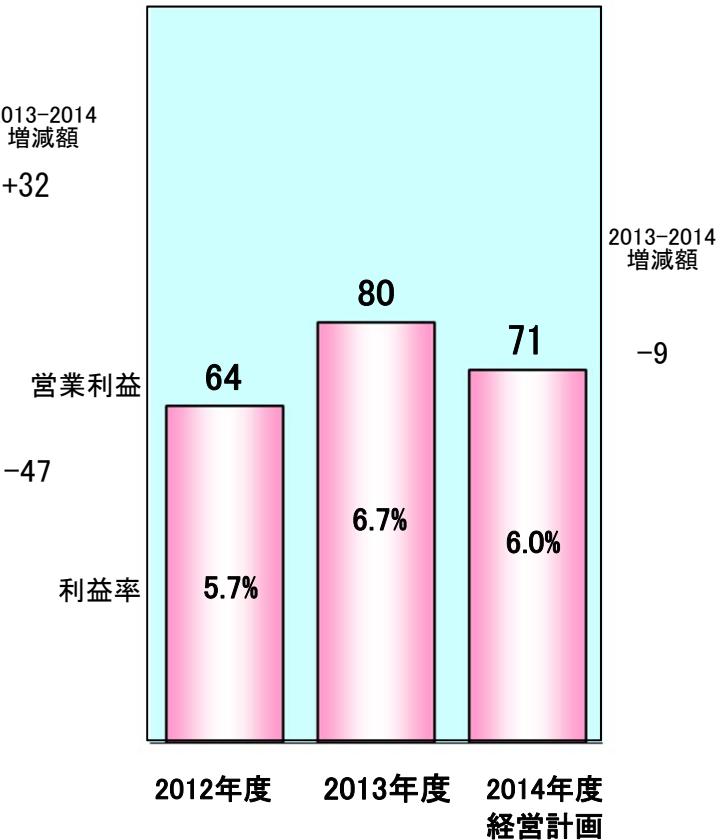
サブセグメント別売上高(億円)



国内・海外別売上高(億円)



営業利益・営業利益率(億円)



重点施策

既存分野における変化への対応と海外への注力を加速

- 省エネ自販機による国内置換需要取り込み
- 顧客との連携強化による差別化製品の開発
- 中国・アジアにおける事業拡大

自販機 重点施策(国内)

省エネ缶・ペット自販機 カップ自販機

市場の
関心

省エネ性能
コーヒー自販機(カップ)



ハイブリッド・
ヒートポンプ機



カップ自販機

無人化店舗 コーヒーマシン

⇒コンビニエンスストアとの協業



無人化店舗向け機材



コーヒーマシン
(写真:株)セブン-イレブンジャパン様向け)

- 海外生産体制の構築(タイ新工場における自販機生産開始)
- 中国・アジア現地販売会社設立による市場拡大
- 現地飲料メーカーの自販機展開支援とオペレーター育成支援
- 新商材の拡販(グラスフロント機、環境対応機等)

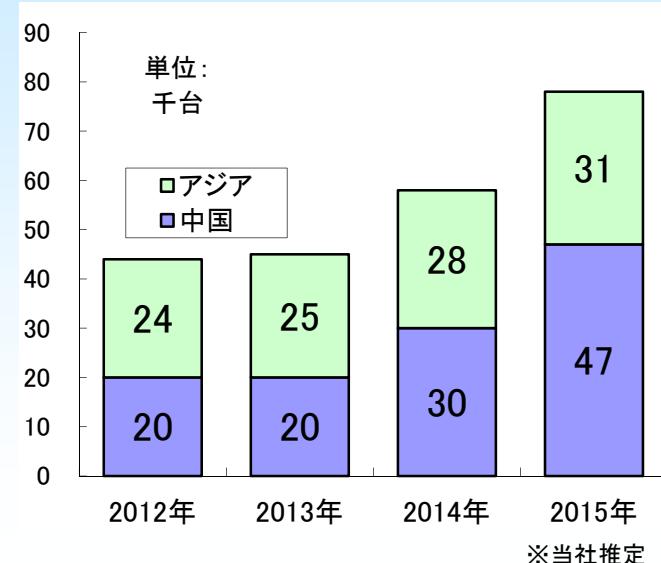


グラスフロント機
【飲料・食品・物品自販機】

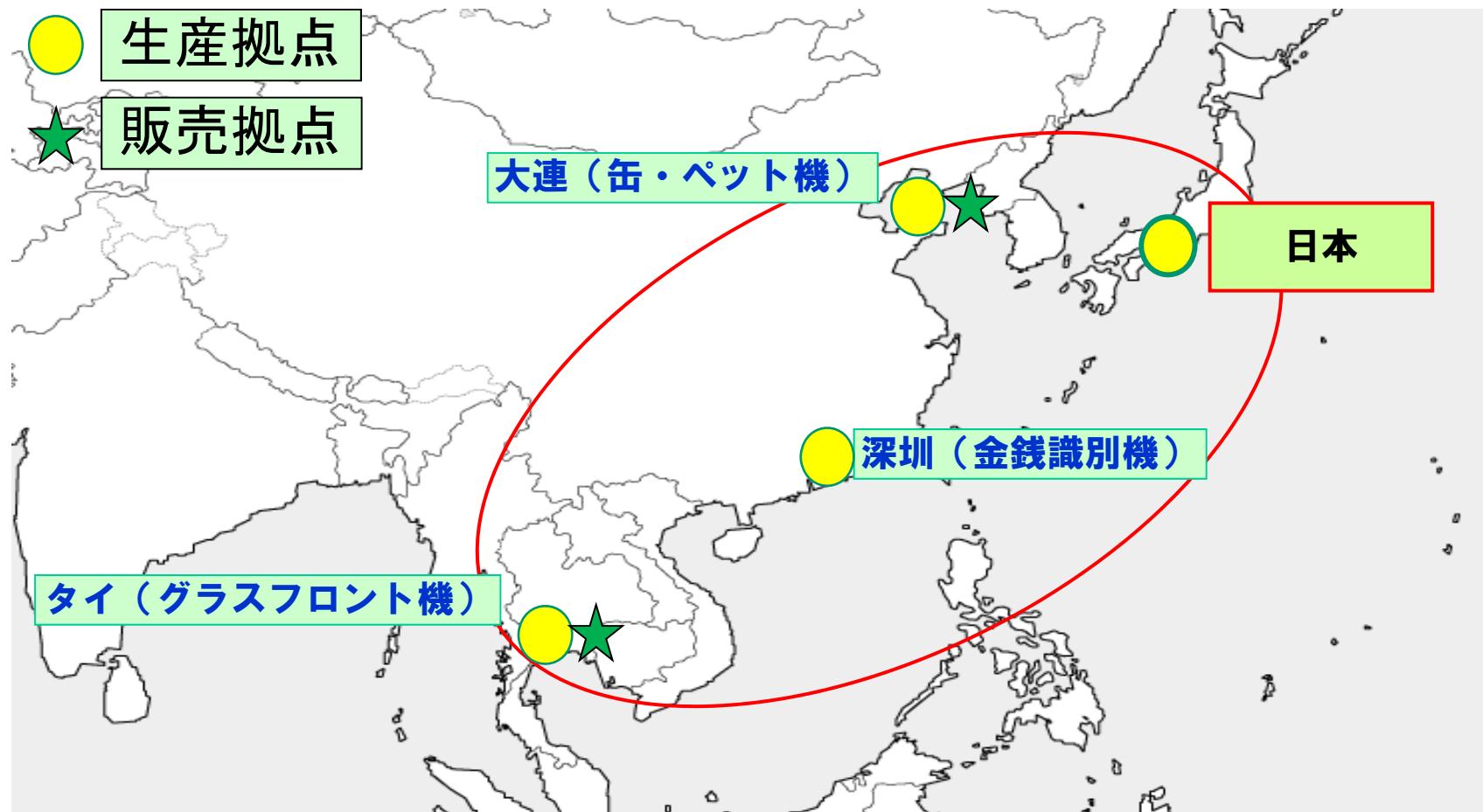


缶ペット機
【飲料自販機】

海外(中国・アジア)出荷台数



三重工場をマザーポイントとしたグローバル4拠点体制の構築
～フレキシブルなものつくり体制による最適化～



新分野拡大に向けた取り組みの加速推進

- “要冷物流まるごとビジネス”をベースに新事業を開拓・拡大
 - 次世代保冷コンテナ「D-BOX」
 - 植物工場向けビジネス
- コンビニエンスストア業界向け新商材の拡大による
店舗まるごと受注の推進

店舗流通 “要冷物流まるごとビジネス”の構成要素

冷凍・冷蔵設備から電気設備・マテハン制御・セキュリティシステムまで、お客様の要望に応じてトータルプロデュース

特高受電設備



◆ターゲット: 運輸、不動産、店舗、食品卸、食品メーカー、JA

非常用電源



無停電電源装置



監視制御



マテハン制御



感振センサ



要冷倉庫



D-BOX



セキュリティシステム (現場モニタリング・入退場管理)



※マテハン：マテリアル・ハンドリング（仕分け等の機械作業）の略称

店舗流通 次世代保冷コンテナ「D-BOX」

FE 富士電機
Innovating Energy Technology

食品の生産・加工拠点から売場まで定温・低温管理、安全・安心、鮮度維持を実現
～蓄冷材・真空断熱材により、電源レスで5時間安定保冷可能～



特長①

独自冷却システムによる急速冷却
●3時間で蓄冷剤凍結

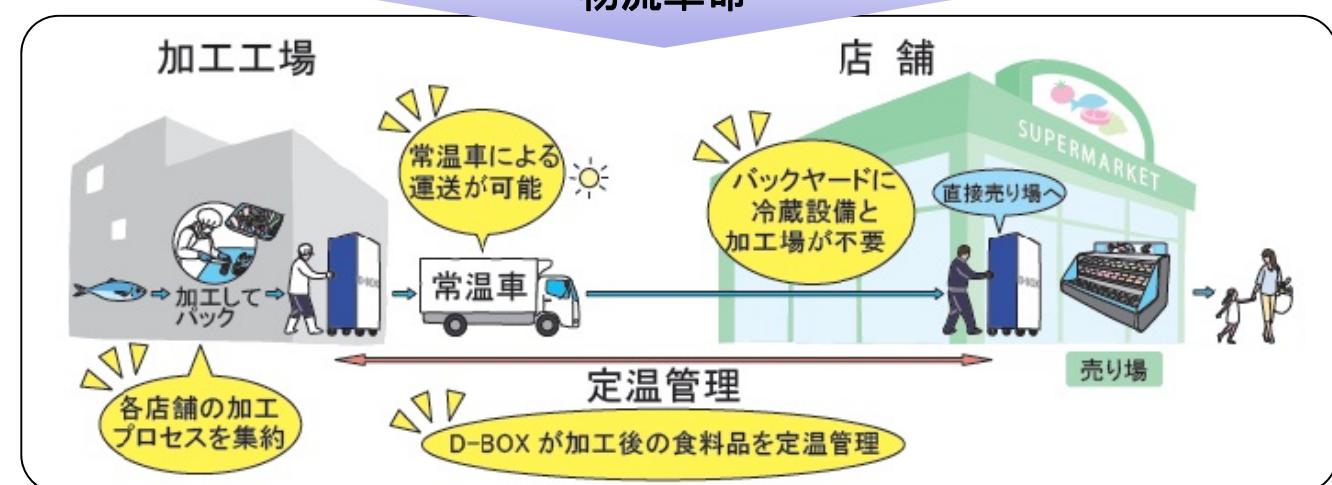
特長②

冷却後は「電源レス」で長時間・安定保冷
●5時間の定温・低温管理

特長③

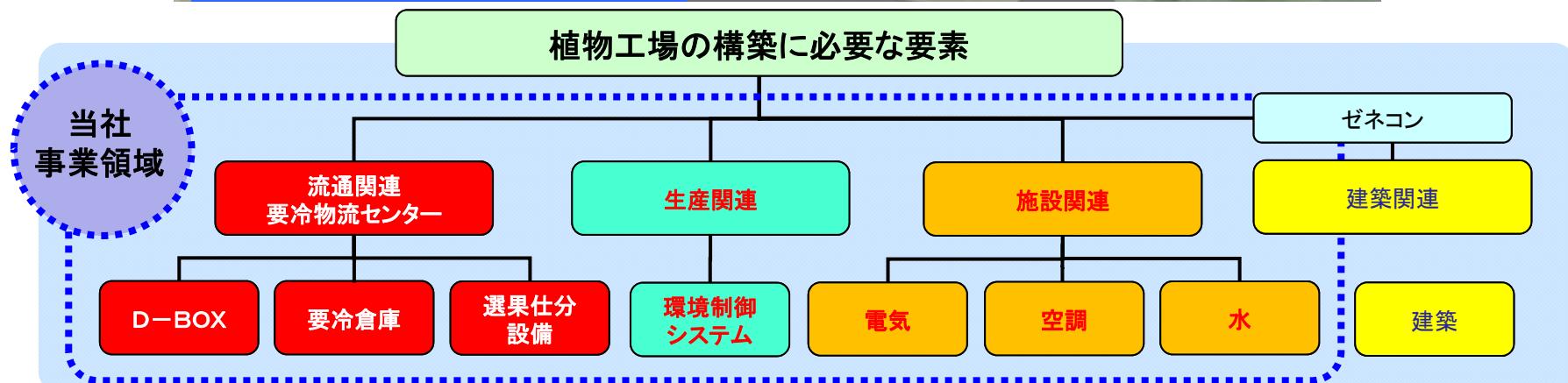
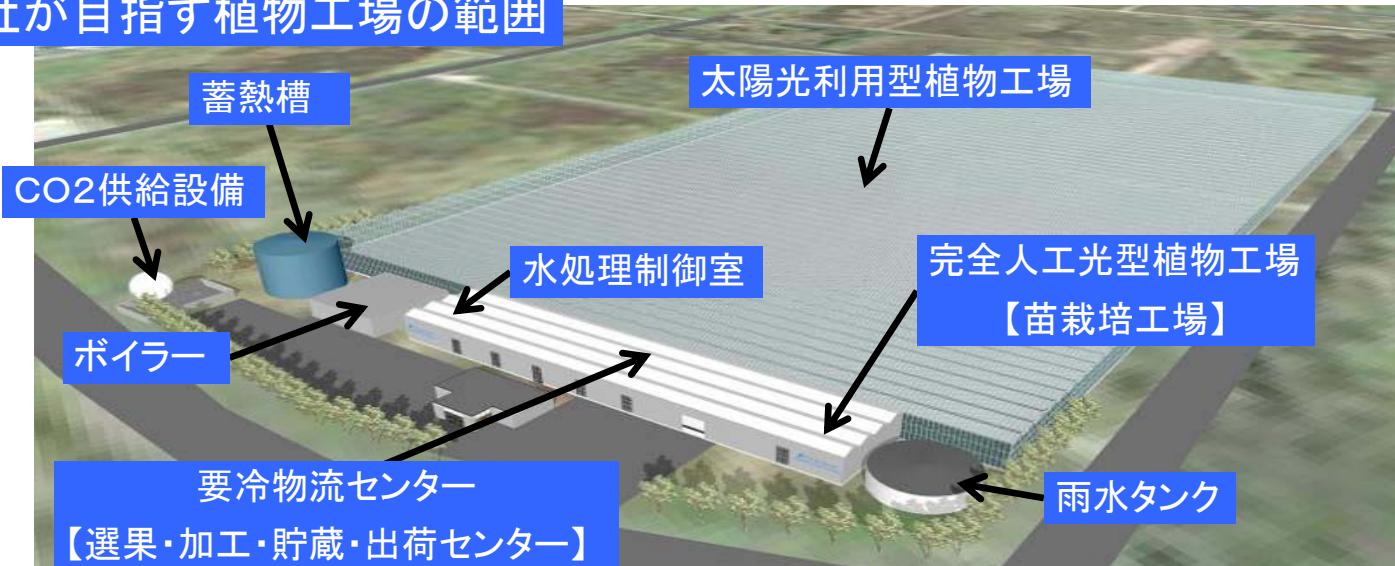
多様な温度帯へ対応(3温度帯)
●チルドだけでなくフローズン・ドライ温度帯へも対応

物流革命



食の安全・安心対策、産地の信頼性向上と農業現場の作業効率向上を実現
～省エネ + トリジエネレーション + EMS + 環境制御システム + 要冷物流 + D-BOX～

当社が目指す植物工場の範囲



1. 本資料および本説明会に含まれる予想値および将来の見通しに関する記述・
言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいておりま
す。その判断や仮定に内在する不確実性および事業運営や内外の状況変化
により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社
は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するもので
はありません。
2. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社の株式の売買を勧誘する
ものではありません。
3. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。